

Evolution for Customers

—— 全進で未来へ “シンカ” ——

2022年3月期 第1四半期 連結決算説明資料

株式会社ヒガシトウエンティワン (9029)

◆ 2022年3月期 第1四半期 連結決算概要

■ 1Qの経営成績

★ 1Q累計期間における売上高・経常利益としては、共に過去最高を更新

⇒ **売上高**は、[中期経営計画2023]達成に向けた業容拡大に加え、コロナ影響による業績悪化が最も深刻であった前年同期と比較し回復基調となったこと等により増収（売上高65.3億円/前年同期比+18.1%）

⇒ **経常利益**は、業容拡大による収益源の増加や、前年度から取り組んでいる、経費削減・業務効率上昇による筋肉質な経営体制構築の効果等により増収（5.1億円/前年同期比+140.6%）

⇒ **連結業績予想**は、当1Qの業績は好調だが、コロナ感染の急拡大により、今後の経済動向が見通せないこと、[中期経営計画2023]達成に向けた成長投資としての費用増加等を見込んでいることから、据置

（売上高260億円/経常利益13億円）

【ご参考】

連結損益計算書概要 (百万円)	2021年3月期 実績		2022年3月期 実績		前年同期比		2021年3月期 実績	
	1Q	構成比	1Q	構成比	増減額	増減率	通期	構成比
売上高	5,536	100.0%	6,537	100.0%	1,001	18.1%	24,436	100.0%
売上総利益	1,172	21.2%	1,496	22.9%	323	27.6%	5,062	20.7%
販売費および一般管理費	977	17.7%	1,036	15.9%	59	6.1%	4,039	16.5%
営業利益	195	3.5%	459	7.0%	264	135.1%	1,022	4.2%
経常利益	214	3.9%	516	7.9%	301	140.6%	1,287	5.3%
特別利益	—	—	5	0.1%	5	—	3	0.0%
特別損失	2	0.1%	0	0.0%	△2	△77.8%	240	1.0%
親会社株主に帰属する当期（四半期）純利益	125	2.3%	336	5.1%	210	167.8%	666	2.7%

- 運送事業 ⇒ 事務所移転作業の増加や、GIGAスクール構想によるPCキッティング業務の受託等により、増収増益
- 倉庫事業 ⇒ 既存事業の物量回復や、前年度期中より稼働したe-コマース向け大型物流センターの本格稼働等により、増収増益
- 商品販売事業 ⇒ コピー用紙等の販売が増加したことにより、増収増益
- ウエルフェア事業 ⇒ 福祉用具の在庫圧縮、拠点統廃合による人件費減少等により、増収増益
- その他 ⇒ 駐車場事業の大口得意先との契約終了等により、減収減益

【ご参考】

セグメント別決算概要 (百万円)	2021年3月期 実績		2022年3月期 実績		前年同期比		2021年3月期 実績	
	1Q	構成比	1Q	構成比	増減額	増減率	通期	構成比
売上高	5,536	100.0%	6,537	100.0%	1,001	18.1%	24,436	100.0%
運送事業	3,612	65.2%	4,272	65.3%	660	18.3%	16,277	66.6%
倉庫事業	1,517	27.4%	1,859	28.4%	341	22.5%	6,347	26.0%
商品販売事業	105	1.9%	130	2.0%	24	23.5%	571	2.3%
ウエルフェア事業	223	4.0%	225	3.4%	1	0.6%	891	3.6%
その他(※)	76	1.4%	50	0.8%	△26	△34.0%	348	1.4%
	1Q	利益率	1Q	利益率	増減額	増減率	通期	利益率
セグメント利益	624	11.3%	859	13.1%	235	37.8%	2,716	11.1%
運送事業	366	10.1%	438	10.3%	72	19.7%	1,679	10.3%
倉庫事業	223	14.7%	383	20.6%	159	71.7%	876	13.8%
商品販売事業	△0	△0.2%	2	1.7%	2	—	10	1.8%
ウエルフェア事業	28	12.5%	33	15.0%	5	20.3%	129	14.5%
その他(※)	6	8.8%	2	4.3%	△4	△67.8%	21	6.1%

※ 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、駐車場事業等を含んでおります。

- オフィスサービス事業 ⇒ 事務所移転需要増加等により、増収
- 3 P L 事業 ⇒ e-コマース向け大型物流センターの本格稼働等により、増収
- ビルデリバリー事業 ⇒ ビル入居時のファシリティマネジメント業務等を受託し、増収
- 基幹事業 ⇒ 前年同期のコロナ影響から回復し、増収
- ITサービス事業 ⇒ GIGAスクール構想に伴うPCキッティング業務の受託等により、増収

- M & A ⇒ 既存子会社の、官公庁向け文書物流における物量増加や、引越需要増加等により、増収

【ご参考：報告セグメントと事業領域の関係図】

事業領域	報告セグメント				
	運送	倉庫	商品販売	ウエルフェア	その他
オフィスサービス	○				
3 P L	○	○			
ビルデリバリー	○				
基幹	○	○	○		○
介護サービス				○	
I T	○	○	○		○
M & A	○	○			

※ 売上高が計上されている部分を「○」で表記しております。

【ご参考】

事業領域別売上高 (百万円)	2021年3月期 実績		2022年3月期 実績		前年同期比		2021年3月期 実績	
	1 Q	構成比	1 Q	構成比	増減額	増減率	通期	構成比
売上高	5,536	100.0%	6,537	100.0%	1,001	18.1%	24,436	100.0%
重点事業								
オフィスサービス事業	804	14.5%	1,088	16.6%	283	35.3%	4,156	17.0%
3 P L 事業	605	10.9%	766	11.7%	161	26.7%	2,723	11.1%
ビルデリバリー事業	368	6.6%	395	6.0%	26	7.3%	1,617	6.6%
基幹事業								
基幹事業	3,381	61.1%	3,692	56.5%	310	9.2%	13,697	56.1%
独自事業								
介護サービス事業	223	4.0%	225	3.4%	1	0.6%	891	3.6%
ITサービス事業	153	2.8%	370	5.7%	216	141.3%	1,349	5.5%
上記の内 M&Aによる売上高								
売上高	793	100.0%	873	100.0%	80	10.1%	2,573	100.0%

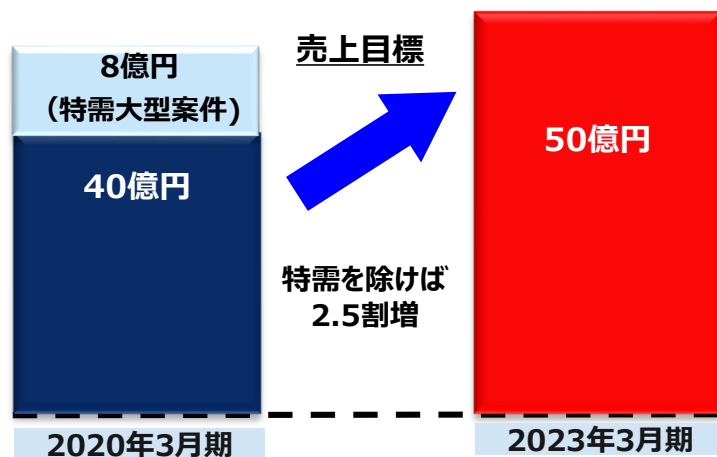
※ 現時点で[M&Aによる売上高]は、全て基幹事業領域に属しております。

※ 中期経営計画2023上の経営財務目標である[重点事業領域売上比率]算定上、重点事業以外に含まれるM&Aによる売上高は、重点事業売上高として扱います。



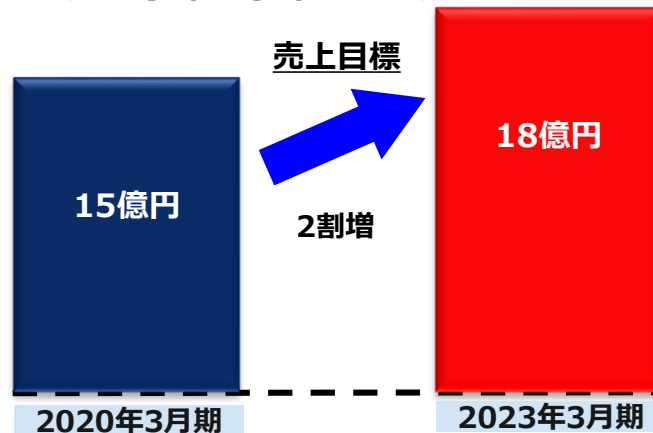
オフィスサービス事業

事業領域の拡大 (移転・引越の多様化対応)



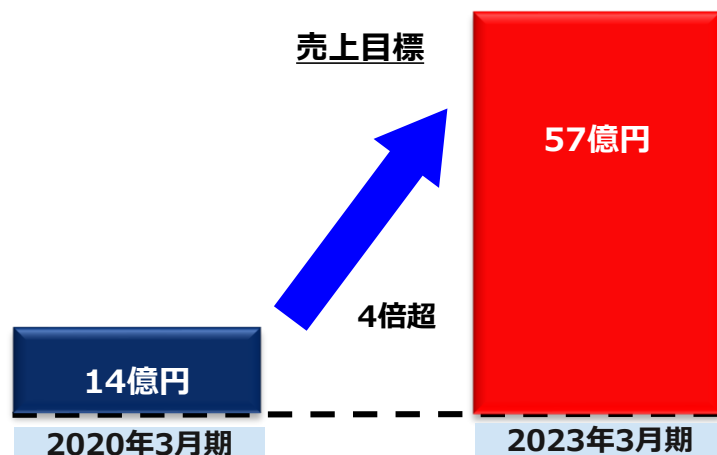
ビルデリバリー事業

ビルデリ事業の更なる推進に加え、
メール室事業を事業の柱に加える



3 P L 事業

コンビニ事業からeコマース及び
インフラ会社資材 3 P L へ重点を移行



M & A

ヒガシ21グループの輸送力、物流設計力、
ITを活用したサービス力などを生かし、
新規事業領域も含め重点事業領域を強化

- ◆単なる売上拡大ではなく、ヒガシ21グループの中長期戦略とのマッチングを重視
- ◆M&Aを専門的に行う事業開発部の人員増強
- ◆M&A後のPMIに有効なグループガバナンスを実行するためのホールディングス機能の強化



(注意事項)

- 本資料は、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資への勧誘を目的としたものではありません。
- 記載されている内容は、ヒガシ21グループの将来についての計画や戦略、業績に関する予想及び見通しの記述が含まれております。これらの記述は、当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定及び所信に基づく見込みです。また、経済動向、市場需要、税制や諸制度などに関するリスクや不確実性を含んでおります。このため、将来の業績は当社の見込みと異なる可能性があります。
- 今後、新たな情報・将来の出来事等があった場合でも、当社は、本資料に含まれる業績に関する予想及び見通しの記述の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

■コーポレートサイトURL

<https://www.e-higashi.co.jp/>



その他、各種情報を配信しておりますのでぜひご登録ください

